

松本市四賀地区のフリーペーパー「たね」

2023年1月1日発行

発行人：相原愛 デザイン協力：相原優

協力：四賀地区地域づくり協議会

たね

2023年 冬号

ご依頼・お問い合わせはこちら
ご意見・ご感想もお待ちしております！

hanahirakuki@gmail.com

(たね編集部)



四賀地区を知る情報サイト

「ハレホレ四賀」

テーマ

「私たちのうつくしさ」

人が、ありのままに

自分の人生に集中している姿は

なんて魅力的で美しいのだろう

「わたしは何をすると喜ぶ？」

「何をしている時が幸せ？」

そっと問いかけ、耳をすます

その声は、ひとりひとりの宝もの

それぞれのきらめきを胸に、

私たちは今日を生きている

冬の仕事から

【torch(トーチ)】

あかんた

昨秋、四賀地区・赤怒田にオープンした、クラフト作品を扱うお店「torch」。店主であるニット作家の梅川まほさんは、「使う方の日常に溶け込むような、心地の良いニットを作りたい」という思いのもと、2009年に「Pelle(ペレ)」という名前で製作活動を始めました。

機械編みや手編みで作られる服や小物。その中でも、お客さまの「とにかく軽くて暖かい物が欲しい…」という一言から生まれたベビーアルパカ使用のスヌードやマフラーは、特に人気のある商品。インターネットのハンドメイドサイトでも販売されています。

ベビーアルパカという素材は、柔らかい手触りが特徴。カシミアにひけをとらない暖かさがあり、丈夫さや毛玉の出来にくさはカシミアにはない大きな魅力だそう。お店では、実際に巻いて試しながら、その優しい暖かさを実感することができます。また、部分的なカラーの変更や、フルカラーのオーダーも可能。

「torch」では、Pelleのスヌードやマフラーの他、紙箱作家 akanebonbon の紙の箱、木の家具 UMEKAWA の木の器、靴作家・相原優の革のルームシューズなど、まほさんが“美しさ”を感じたものが、大切に並べられています。

四賀の古民家カフェ kajiya の店主・石井裕士さんが手がけた内装も素敵。新しい四賀のおすすめスポットです。ぜひ一度訪れてみてください。

『あたたかい気持ちになれる様な物と出会えるお店にしてゆけたらと思っています。お待ちしております。』まほさんより

【torch】

< 営業日 > 毎月末の数日間

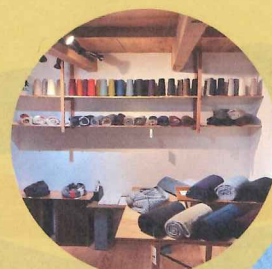
< 営業時間 > 10:00 ~ 17:00

< 住所 > 松本市赤怒田 639

(旧四賀村・化石館近く)

最新情報はこちら→

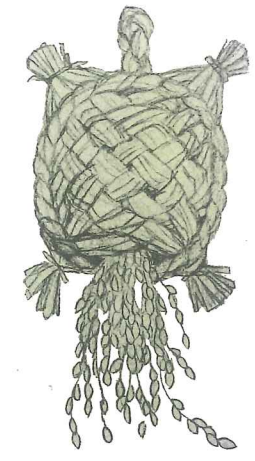
(Instagram)





つながる
みつける
宝もの

たかはたかくお
高簾覚男さんの手しごと



ある晴れやかな午後、中川・矢久やきゆうにあるお宅を訪ねました。
軒先に積まれた松の節。大きいものから親指ほどのもの。ぐにゃりと曲がったもの。
「どうだい、これ。いいでしょう」

ここにこの作品を見せてくださるのは、高簾覚男さん。
藁細工、松の節を使った置き物や、炭焼きなど、多岐にわたって物づくりをしてきた。
八十八歳になった今でも、薪を割りお風呂を沸かす。

置き物に使う松の節は、奥様が山で拾ってきてくれる。
軒先に腰掛け、ひとつひとつ手に取り眺めていると、ふと何かの存在が浮かび上がってくる。
カメ、ツル、ヘビ、カニ、髭の生えたおじいさん、帽子を深くかぶった坊や。
そうして見出したものを形づくるように、バーナーで炙って色をつけていく。
目になる部分には、小さなどんぐりやさくらんぼの種を埋め込み、ペンで黒目を入れ、ニスで仕上げます。

「ほら、これもどうだい。」

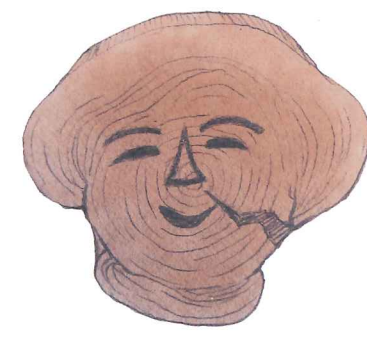


数ある作品の中でも特に思い入れがありそうな置き物は、
愛嬌があって、見つめていると思わず頬が緩んでしまう。
どれもこれもお気に入り入りで愛おしい。なので、実を言うと、
あまりすすんで売りたいくはない。
なにより自分が楽しいから作っている。

藁細工では、ねこつぐら、縁起物の鶴や亀をつくり、地域の方々へ向けたしめ縄づくりの講座を
続けてきた。

「誰かが教えてくれたわけじゃないんだ、自分で考えたんだよ。」冬の間は、離れの工房で藁を編む。
天井から、編み順を一本一本に記し試行錯誤の跡が残る亀の細工がぶら下がっていた。

以前やっていった炭焼きで作っていたのは「白炭(シロズミ)」と
いう種類のもの。
仕上げ段階で窯のなかに空気を送り込み、高温で真っ赤になった
炭を取り出す。そして、灰と土を混ぜ水分を含ませた消粉をかぶ
せて急速に冷やして作るそう。一〇〇〇度を超える高温に耐えう
る窯は、石と粘土を積んで自ら作った。
火持ちがいいのが特徴で、掘りごたつにいれておくと、4日ほど
暖かさもつそう。



以前は四賀にも白炭をつくっていた
人がいたが亡くなり、自身もや
めてからつくる人がいなくなった。
今は、作りためておいたものを使っ
ている。

別れ際、道端のどんぐりを拾い上
げ、「これじゃあ大き過ぎるんだよ
なあ」とぼつり。
節の人形の目玉にするには小さな
どんぐりでないと可愛くならな
いんだそう。

高簾さんの目にうつる、美しさに
触れた気がした瞬間でした。

(取材・構成・イラスト 相原愛)

☆高簾さんの藁細工作品プレゼント☆



1名様 ツルとカメのセット(小サイズ)
2名様 カメ(中サイズ)
お名前・ご住所・ご年代・ご感想を添えて、ハガキまたは
メールにてご応募ください。
E-mail: hanahirakuki@gmail.com
〒399-7411 長野県松本市中川 7073-4
四賀東簡易郵便局留「たねプレゼント係」宛て
応募期間: 2023年1月1日~1月31日
※期間を過ぎたハガキはお手元に転送されます。
尚、このフリーペーパーに関しまして、四賀東簡易郵便局
は一切関与しておりません。
お問い合わせは、たね編集部までお願い致します。

映画上映会 「水になった村」 @四賀支所ピナスホール

大西暢夫監督が来場! アフタートーク、物販もあります。



ダムの建設により廃村となった岐阜県徳山村。
そこに水がたまり始める間際まで留まり、村での暮らしを続けた老
人たちがいました。
映画「水になった村」は、その村人たちの姿を15年にわたり記録し
たドキュメンタリー作品。
監督である大西暢夫さんは、村に暮らすジジババたちに魅せられ、
東京から徳山村まで何度も通い詰めました。
自然と共にあり、季節ごとに土地で採れるものを大切にする生き方、
その知恵や技。
映画の中のお年寄りたちの暮らしは、笑い声に満ちています。

この映画に感動し、上映会を企画したのは四賀地区・原山にお住まいの梅川尚茂さん。
木工作家である梅川さんは、25年ほど前に四賀に移住。自ら建てた家で家族との暮らしを楽しんできました。
映画を観たあとに、「私たちはこんなに素晴らしいところにいるんだ!」と、四賀で暮らすことの幸せ、安心感、
ありがたさを強く感じたそう。
「出てくるお年寄りごとにかく見事! 本当にかっこよくて。」と話されます。

私たちが暮らしていくうえで、本当に大切なこととは何だろう。
映画の上映を通し、ひとりひとりが今いる場所を感じ見つめる。そんな時間になりそうです。
大西監督のお話が伺えるのも貴重。「ぜひ四賀の人たちと一緒に観たい」そんな映画です。

映画「水になった村」上映会

【日時】 2023年3月12日(日) 14:00 ~ 上映開始 ※アフタートークは 15:40 頃より
【会場】 四賀支所ピナスホール 【料金】 1200円
【主催】 梅川尚茂 【共催】 四賀公民館 【ご予約・お問合せ先】 0263-64-3917 (梅川)

予告編は
こちら→



た

はじめまして。「みる」の堀上駿です。
 生き物や植物とともにある自給的な暮らしを目指して、1年半ほど前に夫婦で四賀に越して来ました。山々や、小さな草花などから季節の移ろいを感じられて、とても心地よい日々を過ごしています。

今年は、鶏や蜜蜂を飼いはじめ、初夏の頃には1500頭のお蚕さまも育てていました。

お蚕さまは、はじめ米粒の欠片ほどの大きさで、ひたすらに桑を食べ続け、最後には糸を吐いて繭になります。その姿は神秘的で愛おしく、眺めていると時間を忘れるほどです。

蜜蜂は南信にある妻の実家から西洋蜜蜂をわけてもらって、勉強しながらお世話しています。

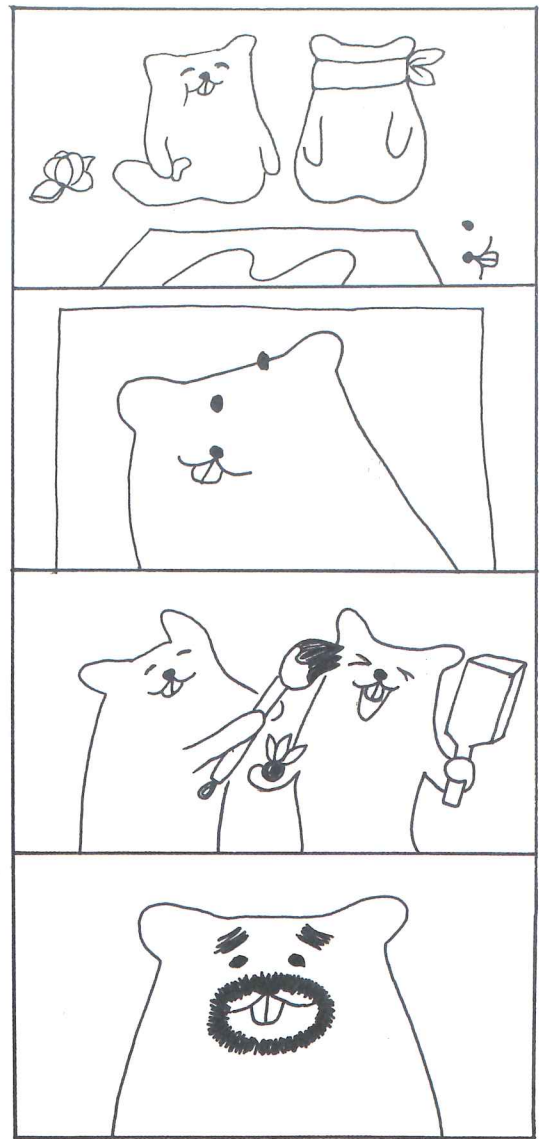
ちいさな生き物たちからのおすそわけを活かして、シルクのアクセサリをつくってみたり、はちみつの販売もはじめました。

今後は羊も飼って糸紡いだりしたいなあ。

まだまだ「やってみる」段階ですが、これから結ぶ市などのイベントにも出店予定です。どうぞよろしくお祈りします。



最新情報は
こちら



びろーんしま

作・画 相原愛

『よもぎ蒸しで身体ポカポカ』

「たねを見た」で500円OFF!

前号でご紹介した、まつもと子ども寮の「よもぎ蒸し」。デトックス効果が高く、身体の芯からあたたまります。ぜひこの機会に!

料金: 3,500円 (初回 3,000円) ⇨ 500円OFF

※有効期限 2023年3月31日まで

【お問合せ・ご予約】※要予約 (2日前まで)

<電話>080-4716-2011 (まつもと子ども留学基金事務局 担当: 中野)

二〇二三年が皆さまにとってよい一年になりますように! 引き続き、学びながら試しながら。等身大でこつこつと。本年もよろしくお祈りいたします。

編集後記

快医学健康相談
鍼灸
オステオパシー 誇張法

はしもと治療室
HASHIMOTO CHIYOSHITSU

0263-75-8608

松本市岡田町 793-3
https://hashimoto215.com/

noradoko
vegetables and books

のらどこ

無農薬野菜やこだわり調味料、料理本を車に乗せて移動販売しています

noradoko808@gmail.com
@noradoko808

プライベートサロン
yonsee

080-4305-1183
松本市五常 6437
10:00~19:00 https://yonsee.info

古いもの引き取ります。
お気軽にご相談下さい。

古道具
つばくろ

松本市会田本町1798
090-1722-8335 (北谷)
http://zubakuro.com

Yorozuya
食・心
べ・身
も・に
の・響
の・き

Ikku

よろづや 安曇野市穂高 5971-3
いっかく (穂高神社北側大鳥居下)
http://ikkaku-yorozu.com/

毎日の暮らしの「困った」を
「良かった」に変える

さいとう
けんちく

一級建築事務所

0263-64-2228
松本市中川 3242-1
https://www.saitoken.net/

毎週金曜
四賀支所にて開催中

結ぶ市
MUSUBU-ICHI

https://musubu1.com/

ご相談ください!
太陽光発電施工
造作大工
電気工事
リフォーム工事

Routefinding

ルートファインディング
080-4422-2866
(遠藤真哉)

松本市岡田下岡田 453-1

もっと食べて暮らそう

信州・四賀

たべくら農園
tabekura.com

庭の仕事承り

0263-30-8416

庭師 鈴木
松本市会田3920
niwashi-suzuki.com

Graphic Works
Leather Works

ホームページお作りします。
靴もお作りします。

0263-88-7893
http://nieyol.com

ご協賛いただき
ありがとうございます!

ご協賛いただける企業・
店舗・団体・個人様を
随時募集しています!

とびだす! たね
~編集室より~